

美術館

The Manifesto of
Museum
Composting

堆肥化宣言

宣言

- ① 美術館とは事後的に見出された直接行動にひも付く腐植の一形態である。
- ② 美術館もまた乱調にあり。その渦中に『生の下支え構造』^{リビング・インフラ}を現象せよ！

「美術館堆肥化計画」総合成果展示

堆肥者

An Art User Conference (アートコレクティブ)

「ありのままの表現展」に集まった作家たち

伊沢正名 (業士師)

Itazura NUMAN (縫いもの集団)

小田 香 (フィルムメーカー/アーティスト)

偽石器

竹内正一 (開拓農家)

田附 勝 (写真家)

テラロンカーズ (子どもの休日応援団体)

外崎令子 (農婦)

庭田植え (東通村大利に伝わる予祝儀礼)

畑井新喜司 (動物学者)

弘前大学教育学部有志

三上剛太郎 (医師)

蓑虫山人 (旅人/六十六庵主)

ミミズ

コレクションより

青木 淳 (「動線体」構造)

荒川修作

大小島真木+アグロス・アートプロジェクト※寄託作品

工藤哲巳

斎藤義重

etc.



畑井新喜司「しまみ」ずの交尾を示す「みみず」(193) 改造社 24頁

2024年2月10日(土) - 6月23日(日)

開館時間=9:30-17:00 (入館は16:30まで)

休館日=毎月第2・4月曜 (この日が祝日の場合はその翌日)

および2月26日-28日、3月18日-19日、5月14日-15日

観覧料=①[4月12日まで]一般510円(410円)、高大生300円(240円)、小中学生100円(80円)

②[4月13日から]一般900円(700円)、高大生500円(400円)、小中学生100円(80円)

※4月13日以降はAOMORI GOKAN アートフェス 2024との連動にともない料金の変更となります

※()は20名以上の団体料金および4月13日以降でAOMORI GOKAN アートフェス 2024

公式ガイドブック特典「スタンプラリー&パスポート」提示割引料金

※心身に障がいのある方と付添者1名は無料

主催=青森県立美術館

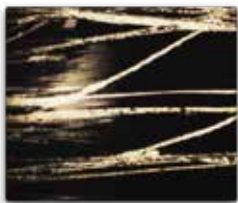
協力=青森県立郷土館、社会福祉法人あーと、曹洞宗長福寺、中泊町博物館、日本赤十字社青森県支部、弘前大学北日本考古学センター、六ヶ所村立郷土館

青森県立美術館

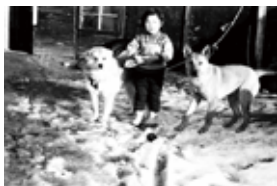
コレクション展内特別展示として、2021-23年の美術館アートプロジェクト事業「美術館堆肥化計画」成果を総合的に紹介する展覧会「美術館堆肥化宣言」を開催します。

県立美術館が地域の文化を「肥やす」べく、アーティストらとの協働のもと県内各地の魅力を発掘・発信した「美術館堆肥化計画」。その成果を示す本展ではアーティストに加え、事業の中で出会った福祉や地域振興、博物館構想といった自分なりのやり方で地域を耕す人びとを「堆肥者」として一律に捉え、彼らの実践の「いま」を館コレクションや関連企画を交えて紹介します。本来的に美術館をはみ出す堆肥者の集まった本展は、全てを芸術に紐づける美術館を、人が他者とのつながりのもと現実世界を生き抜く力を養う資本に満ちた空間として、地域の中でフェアに使いなおすことを試みるものです。

混迷の現在にあって美術館もまた乱調にあり。すべての過去を再生し得るこの場所で、頼りにすべきはミミズの営み。雌雄の別なく地にみち、己の糞で土を肥やす彼らの生を、我らのそれになじませよ。本展でもって生の回復と予祝の力場と化した美術館は、ここに自らの「生の下支え構造」への転化・拡充を宣言する。やるなら今しかねえ。軒を借りて母屋をのつとれ。Just do it now !



小田香《ホモ・モビリタス》(2022)
映像スチル ©ODA Kaori



十三湖干拓の記録写真の例
(撮影者：竹内正一/撮影地：竹田地区
[現中泊町中里付近]/1963年頃か) ©竹内莞



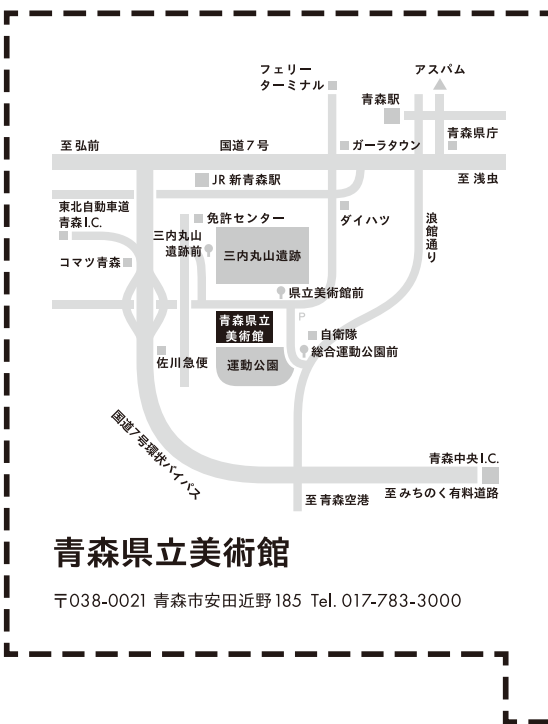
伊沢正名「夏場の2ヶ月後、ウンコ分解後の養分を求めて、大量の木の根が野糞跡を覆う」
撮影：9/13/07 ©IZAWA Masana



大小島真木+アグロス・アートプロジェクト《明日の収穫》(2017-18)
青森県立美術館寄託作品



三上剛太郎
《手縫いの赤十字旗》(1905)
所蔵：日本赤十字社青森県支部



青森県立美術館

〒038-0021 青森市安田近野 185 Tel. 017-783-3000

- JR新青森駅から車で約10分
- 青森駅から車で約20分
- 青森空港から車で約20分
- 東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分
- [八戸方面から]青森自動車道青森中央I.C.から車で約10分
- 青森市営バス：青森駅前6番のりばから三内丸山遺跡行き乗車「県立美術館前」下車(所要時間約20分)
- ルートバスねぶたん号：新青森駅東口3番のりばから「県立美術館前」下車(所要時間約10分)

↓ 関連イベント

追肥

●弘前大学教育学部有志による作品展示

鑑賞可能時間=10:00-16:00 参加費=無料

館内救護室や授乳室を会場とした作品展示を併催します。

※利用者の方がおられる場合がありますので、鑑賞希望の方は各室お近くのスタッフにお声がけください。

●テラヨンカーズとミニ四駆をつかって走らせよう！

2月17日㊤、6月22日㊤ 各日①10:30-12:00 ②13:30-15:00

講師=テラヨンカーズ

定員=各回10名

参加費=無料(要コレクション展チケット)

要事前申込→各回前々日までに以下の事項(参加代表者の氏名、参加人数、電話番号)を添えて、電話にてお申込みください。

電話=017-783-3000(受付時間 平日9:00-17:00)

※定員に達した場合、受付を終了させていただきます。

※小学生未満の方のご参加は保護者付き添いをお願いします。

※ミニ四駆は株式会社タミヤの登録商標です。

美術館を子どもの遊び場や親子で楽しむ場とすべく、「子どもの休日応援団体」テラヨンカーズ(佐井村拠点)と共に、ミニ四駆をつかって展示室内のコースで走らせてみます。

●百年芸能祭@青森製糞館(県立美術館)

3月30日㊤、31日㊤ 各日時間調整中

出演=A3BC:反戦・反核・版画コレクティブ、姜信子(文筆家)、長崎製糞社+森元斎(哲学者)、山内明美(社会学者)、zodiac

参加費=無料(要コレクション展チケット) 申込不要

美術館堆肥化宣言が共振する、関東大震災百周年を機に2023年に立ち上げられた、規模の大小を問わず2123年まで各地で様々に開催される予定の「鎮魂と予祝のまつり(祭り/祀り)」を、展示室内で開催します。内容等詳細は「美術館堆肥化宣言」ウェブページで発信します。

●担当学芸員による展示解説

2月10日㊤、4月29日㊤㊤、5月3日㊤㊤、

6月23日㊤ 各日11:00-12:00

講師=奥脇嵩大(青森県立美術館学芸員)

参加費=無料(要コレクション展チケット) 申込不要

堆肥者の飛び入り参加があるかも。詳細はウェブページで発信します。参加希望の方は時間までに館内「エントランスギャラリー」にご集合ください。



ジェネラル・ミュージアム | 墓「名は物の墓」「前は後の墓」
キリストの里公園周辺(新郷村)
運営: An Art User Conference



田附勝《原燃の柵とシオンの花》(2022-23)
©TATSUKI Masaru

↓ 同時期開催

●企画展「帝国ホテル二代目本館100周年

「フランク・ロイド・ライトー世界を結ぶ建築」

3月20日㊤-5月12日㊤

会場=B2F企画展示室 ※別途観覧料が必要です。

●AOMORI GOKAN アートフェス 2024

「かさなりとまじわり(前期)」

4月13日㊤-6月23日㊤

会場=コミュニティギャラリーほか

※「美術館堆肥化宣言」とあわせてご観覧いただけます。

展示内容や「追肥」の最新情報など、
展覧会詳細は下記をご覧ください。



www.aomori-museum.jp

